

<みなさんは、災害にそなえていますか？>

- 今年の1月6日に、鳥根県東部を中心とする地震があり、鳥取県西部でも大きなひがいが出ました。また、10年前には中部、26年前には西部、83年前には東部でも大きな地震が起きました。
- さらに最近は、大雨で川の水があふれることもふえています。地震や水害などの災害は、いつ、どこで起こるかわかりません。

<災害から身を守るために大切な3つの考え方>

- 防災には、次の「3つの考え方」があり、どれもとても大切です。  
★自助:自分や家族でそなえること ★共助:近くの人や地域の人と助け合うこと ★公助:市役所や県などの取り組みを使うこと

**災害が起きたときには、どれも大事な行動ですが、みなさんは、どの考え方について詳しく学び、行動できたらよいと考えますか。**

次の①～③の候補の中から選んで投票してください。

※なお、皆さんが投票で選んだ結果は、ぼうさいこくたいのイベント内容などに反映します。

## ①自助(自分や家族でそなえる)

○自分や家族でできるそなえをしっかりとる。たとえば…

- 水や食べ物を3日以上用意する。
- 家族でにげる場所や連絡方法を決めておく。

【鳥取県の取組】

おたよりや防災イベントなどでそなえることの大切さを伝える

☞よいところ 自分と家族の命を、自分たちで守る力がつく。

☞まよところ 自分の家だけがそなえていても、友だちなど、他の人たちはどうなる？

## ②共助(地域の人と助け合う・仲良くなる)

○地域の人と助け合えるつながりをつくる。たとえば…

- 近所の人とあいさつや会話をする。
- お年寄りや困っている人がどこにいるか知っておく。
- 住んでいる地区の防災訓練に参加する。

【鳥取県の取組】

消防団など地域を守る人を育てる、何かあった時に助けあえる地図「支え愛マップ」の作成を応援する

☞よいところ 災害のときは、「近くの人」が助けになる。

☞まよところ 何かあった時に役に立つのか見えにくい・分かりにくい。

## ③公助(社会のしくみや情報を使う)

○社会のしくみや情報を使う。たとえば…

- ハザードマップを見る。
- 避難所の場所や避難所のことを知る。
- 防災のアプリやメールやSNSなどの情報を使う。 ※県や市町村が出す正しい情報を使う。

【鳥取県の取組】

防災アプリ「あんしんトリピーなび」により正しい情報を発信する

☞よいところ 正しい情報を知ることによって、正しく行動しやすくなる。

☞まよところ 知っているだけでは、実際の行動につながらないこともある。